

校番	16	ホームルーム活動	○	生徒会活動	学校行事	別紙様式
----	----	----------	---	-------	------	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立大竹高等学校	校長	見村眞由美	生徒指導主事	岡本茂生
-----	------------	----	-------	--------	------

**取組事例名 『 社会奉仕活動 』**

**取組における育てたい資質・能力**

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「協調性」	2	「主体性」	1	「自己肯定感」	3

**取組のねらい『 地域貢献 』**

- 生徒会を中心に計画をし、自ら考え判断し行動できる。
- 環境美化に対する意識を高める。
- 地域で唯一の高等学校であることから、自分自身がより良い地域社会をつくる担い手であることを自覚する。

**取組の具体的内容『 美化活動・清掃活動 』**

- 地域清掃活動 . . . . . 生徒会執行部、美化委員により全校生徒へ地域清掃活動の実施をHRにより周知した。  
各運動部・文化部の顧問や部長にもボランティア活動へ積極的参加を促すアプローチを行った。  
大竹高等学校敷地内から大竹駅までの登校ルートおよび地域の主要幹線道路や公共施設等へ2グループに分けた清掃活動を展開した。  
積極的に地域の方々へ挨拶を行い、コミュニケーションを図った。
- 緑化活動 . . . . . 学校行事として花いっぱい運動を実施し、花の生育に必要な水やり等を長期休業中においても生徒会・美化委員を中心として計画的に行い、その成果として育てた花を地域の保育所・駅等へ贈る。
- 校内外清掃活動 . . . . . 生徒、PTA、教職員参加により夏休み期間中に実施した。

**取組の課題・創意工夫『 生徒の主体的活動 』**

- 生徒会で作ったジャンパーを着用し、チーム大竹で活動していることを地域の方々へ知ってもらう。
- 清掃活動中にも積極的に挨拶を行いコミュニケーションの場とする。
- 生徒会行事として年間計画を作成することが課題である。実施をした後の生徒へのアプローチが必要だと考える。
- 感謝の気持ちの醸成（事前学習）



### 取組の成果（効果）『 帰属意識・自己肯定感の向上 』

- 地域からの苦情の減少
- 活動参加生徒の増加 ・・・・ 昨年度 80名 今年度 92名
- 地域から感謝の気持ちを多くいただいた。
- アンケートによって、参加生徒の95%が「やってよかった」「地域の方に声をかけてもらいうれしかった」「来年も参加したい」など、活動に肯定的な意見が多数上がった。

### 今後の展開『 生徒の力 』

- 生徒主体で継続した環境整備活動の計画 ・・・・ 生徒会活動行事として位置づけ、年間計画を立てる取り組み。
- 生徒自身による学習環境整備への意識向上 ・・・・ 学習の場である学校内、特に使用教室内の環境整備への意識の向上。
- 生徒会による地域とPTAとの連携 ・・・・ 挨拶運動も含めもっと積極的に地域での活動に参加する。
- 自主的な参加生徒の拡大 ・・・・ 教員の声掛けではなく、生徒間で声を掛け合い、ボランティア活動の拡大を目指す。

### 他教科との関わり『 連携 』

- 生徒会だけの取り組みだけにとどまらず、関係・関連教科とのつながりを求めていく必要がある。教科や部活動において地域の方々と連携を行っているが、それぞれどんな関連性があるかは集約できていない。連携することによって次年度の取り組みが進化する可能性があると考えられる。